

令和5年度 学校紹介補足 (よくある質問に対する回答)

長野県下伊那農業高等学校

1 学科・コースについて

- (1) 「各学科ではどのような学習内容を学ぶのですか」

学科ごと特色があります。「学校案内パンフレット」や「学科別Q&A」をご覧ください。

- (2) 「コースはどのように選択するのですか」

令和4年度入学生から、「4学科、各2コース制」、計8コースとなり、全学科2年次よりコースに分かれて専門科目の学習に取り組めます。コースの選択は、1年次の専門科目の学習やコース説明会を経て、2学期に専門学習に対する興味関心の分野や進路希望分野などを踏まえて調査し、12月の保護者懇談会で確認し、1月に最終決定します。なお、希望人数に偏りがある場合には、本人及び保護者と話し合い調整します。

学 科	コ ー ス	
アグリサービス科	地域探究コース	食農文化コース
農業機械科	自動車整備コース	生産技術コース
園芸クリエイト科	施設園芸コース	果樹園芸コース
食品化学科	食品開発コース	食品分析コース

- (3) 「普通科目と専門科目の単位数（時間数）は、どのようになっていますか」

3年間で学ぶ全教科・科目の普通科目：専門科目の比率は、およそ6：4で、上位学年になるにしたがって、専門科目の割合（比重）が高まります。また、2・3年次には普通科目と農業科目の選択制科目があり、興味関心や進路等に応じて選ぶことができます。詳しくは、学校案内パンフレットをご覧ください。

なお、専門科目のすべての授業が実習・実験・演習ではなく、普通科目の授業と同様に座学も行います。なお、実習と座学の割合は科目によって異なります。

- (4) 「各学科では、専門科目では、どのような勉強をするのですか」

1年次：導入科目「農業と環境」で農作物栽培の基本を、その他の専門科目で各学科の基礎を学びます。

2年次：各学科ともに中核となる専門的な学習を行います。コースではグループ研究等にも取り組みます。ただし、農業機械科の自動車整備コースでは整備士資格の取得に取り組みます。

3年次：各学科ともに応用発展的な専門科目の時間数が増え、専門学習の総まとめとして「課題研究」において設定したテーマに基づき研究や作品製作に取り組みます。

※詳しい科目名につきましては、本校ホームページで教育課程表をご確認ください。

※特に専門科目では知識や技術を実験・実習・演習を通して実践的に学ぶことが多いため、出席はもちろんのこと、基本的な技能の習得やレポート提出、関連する資格取得などが重要となります。

- (5) 「すべての学科及びコースで、農業の学習をするのですか」

アグリサービス科では家畜の飼育管理を行います。また、すべての学科で農作物の栽培管理を行います。その多少は学科・コースにより異なります。学科によっては食品加工の実習も行います。

- (6) 下農の授業等で扱っている資格はどのようなものがあるのですか

別資料「資格取得一覧」を参照してください。専門科目の中には、資格取得と関連しているものも多く、課外時間での練習や夏休みの講習が必要となる場合もあります。

2 学校行事や生徒会活動について

- (1) 「下農独自の行事にはどのようなものがありますか」

- ・校内発表会 [意見・研究プロジェクト] (5月に実施)

農業学習や、普段の生活の中から学んだ、農業・環境・食料・ヒューマンサービス等に関する意見発表や研究発表を行います。発表者は、クラスの代表者（意見発表）、専門研究班（研究発表）です。校内発表会で上位に入賞すると、7月に開催される県大会への出場権が与えられます。

- ・収穫祭 (11月に実施)

農業高校独自の行事で、収穫への感謝を表す式と、学科ごとに学習成果の発表や各種研修報告を行います。また農作物の恵みに感謝し1年間の農業実習の労をねぎらうために、昼食時間に下農産の農畜産物でつくった赤飯・豚汁・果物・漬物を全校全員でいただきます。

- ・2学年見学旅行（修学旅行に相当）、1学年校外研修（10月に実施）
2学年は2泊3日、1学年は1日の日程で行います。各学科の専門学習に関連した体験や見学、平和等のテーマ学習を行います。級友との親睦を深める観光的要素もあります。行き先は学年・学科により異なり、令和5年度は東北方面、昨年度は近畿・中国・四国方面でした。

(2) 「なぜ11月に文化祭を行うのですか」

本校の文化祭は「稲丘祭」と呼んでいます。専門科目における学習成果の発表と、学校で栽培・飼育した農畜産物の展示・販売がメインとなるため、例年11月初旬に実施しています。

(3) 「生徒会活動について教えてください」

本校では生徒会を校友会と呼んでいます。中学と同様に各種の委員会があって、執行部と呼ばれる会長や書記などの役員がいて、生徒会活動を運営しています。

普通高校と異なる点は、校友会長とは別に農業クラブ会長がいて、農業クラブ執行部と農林委員会があることです。農業クラブは全国の農業高校生で組織される「日本学校農業クラブ連盟」主催の発表会や競技会への出場者を決定する校内発表会や県大会（数年に1度運営）の企画・運営をしたり、りんご並木の花壇づくりや南信州の地域活性化支援等に取り組んだりしています。

(4) 「クラブ活動について教えてください」

本校ではクラブ活動を「班活動」と呼んでいます。運動班・学芸班・特別班があり、県大会のみならず、北信越大会や東海大会、全国大会へも出場するなど活発に活動しています。

また、各学科の専門学習に特化した専門研究班と呼ばれる班があります。地域の課題解決に組み込み、新聞やテレビ等で紹介されるとともに、農業クラブ全国大会へ出場するなど活躍しています。

活動しているクラブは、以下のとおりです。

運動班	ラグビー、サッカー、卓球（男・女）、陸上（男・女）、野球、剣道（男・女）、弓道（男・女）、山岳、柔道（男・女）、ソフトテニス（男）、ソフトテニス（女）、バスケットボール（男）、バスケットボール（女）、バレーボール（男）、バレーボール（女）
学芸班	吹奏楽、生物、演劇、芸術、茶道、生花（同好会）
特別班	IAC（インターアクトクラブ）
専門研究班	果樹、園芸、食品科学、農業機械、アグリ研究、生活研究クラブ

3 校則について

(1) 「服装について教えてください」

本校は制服の着用を義務づけており、季節に応じた服装の規定があります。制服を着用することで下農生としての誇りと自覚ある行動をとることができ、地域の皆さんが下農生であることを認識し、同窓生も多いことから下農（しものう）や下農生を身近に親しみを持って見守ってくれています。

(2) 「校則について特徴的なことを教えてください」

バイク通学については、通学距離に応じ原動機付自転車（50cc バイク）免許の取得と通学許可（極少人数）をしています。ただし、免許の取得は1年生の春休み以降で、通学は2年生になってからとなります。

4 その他

(1) 「学校生活の時間割はどのようになっていますか」

朝SHR 8時45分／午前4時限／昼休み／午後2時限／清掃・放課後SHR 15時50分／班活動

(2) 「どのような通学方法で通っていますか」（令和5年度：利用している主要な交通手段）

徒歩（111名、約24.4%）、電車・バス（233名、約51.2%）、自転車（51名、約11.2%）、バイク（7名、約1.5%）、自動車送迎（43名、約9.5%）、

(3) 「男女比はどのくらいですか」（令和5年度）

学校全体では、男子47.4%、女子52.6%です。学科ごとの男女比は以下のとおりです。

	アグリサービス科	農業機械科	園芸クリエイト科	食品化学科
男子	21.1%(24名)	99.1%(105名)	35.5%(39名)	37.4%(43名)
女子	78.9%(90名)	0.9%(1名)	64.5%(71名)	62.6%(72名)